



ごあいさつ ～ 2月議会が閉会 当初予算を承認 ～

2月18日から3月28日まで2月議会が開催され、令和7年度当初予算案の審議の結果、原案の通り可決しました。今回の予算は、これまで市民の皆さまの声をまとめ、公明党議員団が市に対して訴えてきた数多くの施策が反映されました。本号は、公明党が実現した主な施策を紹介します。

防犯・防災の充実

令和5年度までに神戸市直営の防犯カメラを市内全域に2,500台設置してきました。これを3年間かけて5,000台まで倍増させます。令和7年度は通学路や駅周辺で1,000台、住宅地で400台の増設をし、体感治安の向上を目指します。カメラの増設にあたっては、既設の地域カメラを神戸市直営のものに置き換えることを積極的に推進し、地域負担の軽減も図ります。



東日本大震災や、能登半島地震でも活躍したトイレカー。数度にわたり神戸市でも導入を求めた結果、トイレカー1台の導入が決定しました。普段はトイレのない里山整備や防災イベントで、有事には避難所で活用します。また、災害派遣トイレネットワークプロジェクトにも加盟して、神戸のトイレカーが全国の被災地で活用できるように取り組みます。

近い将来に起きると言われている南海トラフ地震などの大規模災害に備え、各区役所や医師会等の関係機関に途切れない衛星通信回線を導入し、救護所の迅速な開設と機能強化を図ります。更に、神戸市医師会のD-Kometと連携し、全区で救護所設置や医療チーム要請の初動対応訓練を実施し、実効性のある医療活動につながる取り組みが行われます。



生活・医療・高齢者施策の充実

市民の皆さんに快適にバスを利用してもらうために、**バス停留所に屋根の設置やベンチの整備を加速します。**特に、民間バスの停留所では老朽化した屋根が修繕されないままの場所もあるため、市が積極的に地域の声を集めて民間バス事業者に伝え、費用の一部を助成して整備を後押しします。これにより街の景観の改善も進み、観光地としてふさわしい姿になります。



インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、コロナワクチン、带状疱疹ワクチンなど種類が多くなってきた予防接種について、高齢の方を対象とした1本化した相談窓口『**シニア予防接種コールセンター**』を4月より運用を開始し、より分かりやすい案内を行います。

TEL : 777-4349 FAX:291-5953

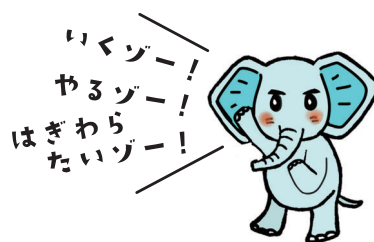
身寄りのないシニア世代への支援として、財産管理や医療・介護、葬儀・遺言等、将来に向けた不安を聞いて、公的制度や民間サービス等の**必要な支援につなげる終活総合相談窓口**を本年10月より開設します。

また、人生の終末をどう迎えるかという「エンディングプランサポート事業」における年収制限の緩和の検討を加速します。



带状疱疹ワクチンの定期接種化を実現

令和7年度から65歳を対象とした**带状疱疹ワクチンの定期接種が始まり、接種費用の一部(半額程度)が助成されます。**詳しくは以下のQRコードで。



カフェトークを開催

19回目のカフェトークを湊川神社近くの喫茶店で開催しました。令和7年度の予算の説明を行い、身近な防犯カメラや街灯についての質問や相談をいただきました。



公明党市会議員団控室

〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL: 078-322-5842

